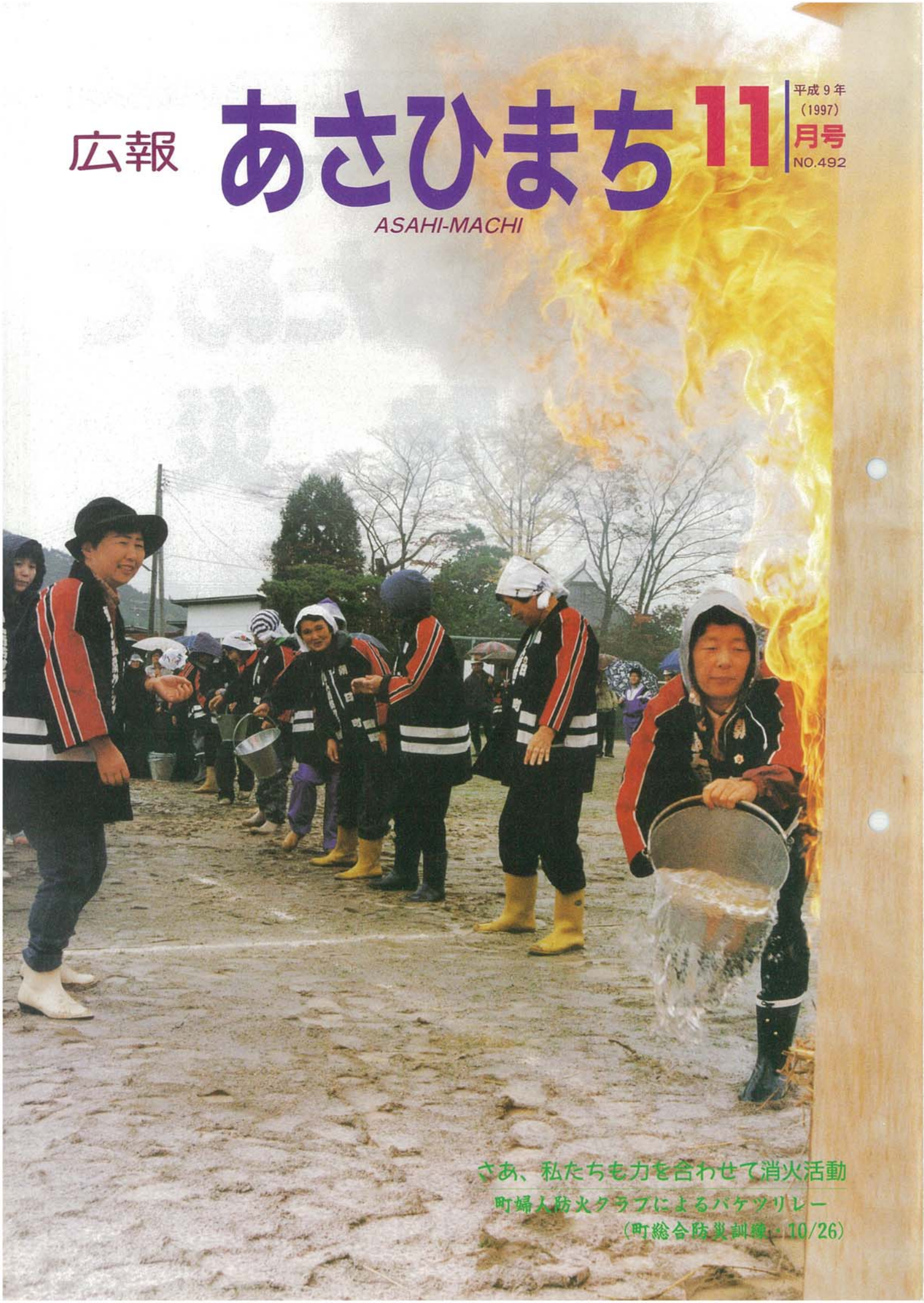
広報

あさひまち

11月号
平成9年
(1997)
NO.492

ASAHI-MACHI



さあ、私たちも力を合わせて消火活動

町婦人防火クラブによるバケツリレー

(町総合防災訓練・10/26)

町総合防災訓練

万一に備えて あらためて 防災

6,000人もの尊い命を一瞬にして奪った阪神・淡路大震災から2年10カ月。震災の教訓を生かし、全国で防災訓練が行われています。

朝日町でも10月26日、大谷地区で町総合防災訓練が行われました。この日は約500人が参加するなか、初期消火訓練や人命救助訓練など、実践的な訓練が行われました。

今月はこの総合防災訓練を紹介しながら、地震の恐さと防災の大切さについて考えてみます。

本番さながらに行われた町総合防災訓練

十月二十六日午前九時四十二分ころ、山形県内陸部を震源とする強い地震が発生。この地震のため朝日町全域に被害が発生し、特に大谷地区では各所で家屋やブロック塀などが倒壊。多数の死傷者が出た。また、家屋倒壊により住宅密集地で発生した火災は、折からの強風にあおられ近くの秋葉山へ延焼し、林野火災が発生した。

町総合防災訓練はこのような想定のもと、大谷小学校グラウンドを主会場に大谷地区一円で実施されました。まずは、訓練の様子を紹介します。

九時四十三分、地震発生による災害発生の通報が町役場と秋葉山交遊館に殺到し、町職員が秋葉山交遊館に集合しました。清野町長を統監に渡辺町消防団長を本部長とする現場本部が大谷小グラウンドに設置され、被災箇所の被害状況を把握する態勢が取られました。さらに、消防隊の広域応援要請や町婦人防火クラブへの炊き出し協力依頼、林野火災に備えた自衛隊へのヘリコプター派遣要請などが、本番さながらに行われました。

緊急避難所となった大谷小学校グラウンドでは、地区住民とわかば保育園児が本番さながらの避難訓練を行いました。

また、地区住民と町婦人防火クラブが、天ぷらなべと物置小屋から火災が発生したとの想定で、消火器とバケツリレーによる初期消火訓練を実施しました。

近くのポンプ庫では、倒壊した家屋の中に要救助者がとり残されたことを想定。西村山広域消防署員が工作車を使っての救出訓練や、朝日分署救急隊による応急処置と病院への搬送訓練が展開されました。

大谷第四公民館を火点とする住宅密集地における火災防ぎょ訓練では、第三分団(北部地区)の各自動車、積載車、小型ポンプが出動。さらに町消防団各分団と西村山管内のポンプ車が出動し、迅速な消火活動を実施しました。

さらに、大谷往来館周辺には臨時救護所を設置し、心肺蘇生人形を使った人命救助訓練や、町婦人防火クラブが、被災者に対するおにぎりなどの炊き出し訓練を行いました。

表①

朝日町の災害記録

災害記録は、「町災害日誌」および「広報あさひまち」より抜粋

【水　害】

◆昭和31年７月……集中豪雨による大洪水で、大暮山滝ノ沢橋、沢内一枚橋などが流出。がけ崩れによる家屋倒壊により１人死亡。被害総額1,400万円。

◆昭和32年７月……集中豪雨による河川大洪水で、床上浸水９戸、床下浸水230戸。

▼昭和42年８月……羽越豪雨により最上川大洪水。最上川沿いの家屋流出や浸水など41戸。田畑の流出や冠水48ヘクタール。救出作業者１人死亡。被害総額11億円。

▼昭和51年８月……集中豪雨による最上川大洪水。道路、家屋、農作物などに被害多数。被害総額５億円。

▼平成９年６月……台風８号による集中豪雨で、道路、がけ崩れ、河川、農作物などに被害多数。被害総額２億6,000万円。

【風　害】

▼昭和50年６月……西船渡地内で竜巻が発生。屋根全壊などの建物被害８棟。負傷者１人。

▼昭和54年３月……暴風により家屋や学校などの建物被害324棟。被害総額５億2,000万円。

▼平成３年９月……台風19号の接近により果樹などに被害。被害総額５億9,000万円。

【大　火】

▼昭和５年９月……西船渡大火で19棟焼失。

▼昭和９年５月……立木大火で20棟焼失。

▼昭和22年９月……送橋大火で18棟焼失。

▼昭和54年４月……助ノ巻大火で、住宅２棟全焼、部分焼１棟、作業小屋６棟全焼、部分焼１棟が焼失。被害総額1,700万円。

火は恐くない。町婦人防火クラブによる初期消火訓練（大谷小グラウンド）

最後に、災害派遣要請を受けた陸上自衛隊第六師団（神町駐屯地）の小型ヘリコプターが、被災状況を確認する偵察訓練を展開。想定では偵察中に建物火災の火が強風にあおられ、秋葉山への飛び火を発見。林野火災に対し、機動力のある中型ヘリコプターで消火活動訓練を行う予定でしたが、あいにくの悪天候のため視界不良となり、残念ながら中止となりました。

朝日町でも発生していた大災害
もう他人ごとでは済まされない

みなさんの記憶に新しい阪神・淡路大震災。平成七年一月十七日に発生したマグニチュード7・2のこの大地震では、六千人を超える尊い命が一瞬にして奪われました。負傷者三万六千人、家屋倒壊十万軒、三十万人余りが水も電気もない避難所で、寒さと飢えをしのぐという想像を絶する被害になりました。

あれから二年十カ月。街の復興も進み、被災地にはいくぶん明るさも見えてきました。しかし、今でも家を失い行き場をなくした人々が、仮設住宅で不便な生活を強いられているなど、震災のつめあとは人々の生活の中に深く残っています。

ところで私たちの住む朝日町は大丈夫なのでしょうか。朝日町は比較的天災の少ない地域で、大きな災害は無縁であると思っている方がいると思われます。しかし、これまでに水害や風害、大火などで多くの人命や財産を失っているのです。表①を見れば、災害を他人ごとには思えなくなるはずです。

災害で最も恐い地震
日本は地震多発国

だれもが聞いたことがある「地震、雷、火事、親父」。昔から地震は、家屋などの倒壊はもとより火災や津波、土砂災害と複数の災害が同時に発生するため、災害の中でも最も恐れられてきました。十四万人が犠牲となった大正十二年（一九二三年）の関東大震災や、最近では六千人の死者を出した阪神・淡路大震災など。

このように私たちの住む日本列島では昔からたびたび大地震が発生し、幾度となく大きな災害をもたらしてきました。

では、なぜ地震は起こるのでしょうか。地震が発生するメカニズムを勉強してみましょう。

◆海溝型の地震

日本列島が乗っている大陸側のプレートに、海洋側のプレートが毎年数センチもぐり込んでいます。そのときに大陸側のプレートが引きずり込まれ、プレート同士の境目にひずみが蓄積されます。それが限界に達したときに、元に戻ろうと急激に跳ね上がり地震が発生します。

◆活断層による地震

プレートに蓄積されたひずみのエネルギーが、プレートの内部で破壊を引き起こし、断層ができ地震が発生します。阪神・淡路大震災などの直下型の内部地震のほとんどがこのタイプです。日本には過去二百万年のうちに何度か活動し、今後も活動すると考えられる断層（これを活断層という）が千五百箇所以上あります。

朝日川上流で発生した群発地震は
大地変動が続いている証（あかし）

地震の恐さと発生するメカニズムは分かりました。

では私たちの住んでいる山形県は、朝日町は、地震の発生する恐れがないのでしょうか。

朝日町の地質に詳しい日本地質学会会員・山形応用地質研究会会員の佐竹伸一さん（常盤・朝日町教育委員会勤務、派遣社教主事）にお話しを伺いました。

（聞き手―広報あさひまち）

―これまで山形県内でも、大地

⑥

③

④

①

⑤

②

震が発生したことがありますか。

●佐竹　図①を見ていただきたいのですが、山形県内においても、これまでマグニチュード7クラスの大地震が何度か発生しています。被害が大きかった地震は、明治二十七年の酒田地震や昭和三十九年の新潟地震などです。酒田地震の被害状況は、家屋倒壊三千八百五十八戸、半壊二千三百九十七戸、焼失二千百四十八戸、死者七百二十六人、負傷者千六十人。新潟地震による山形県内の被害状況は、死者九人、負傷者八十二人、家屋倒壊六百五十二戸、半壊七百八十四戸となっています。

　また、奥羽山脈から西には、南北に走る逆断層が数多くあって、これらは山地と盆地の境にできた活断層です。今も山間部では隆起を、盆地部では沈降を静かに続けているので、この境目に活断層ができるというわけです。明治二十九年の陸羽地震は、このような活断層の再活動で生じたものです。

　さらに、新潟地震域北方の山形県沖の海域は、地震の空白域として最近とくに注目されてます。これらのことから考えてみても、山形県内で大地震が発生する可能性は十分にあります。

―朝日町が震源地になる可能性はありますか。

●佐竹　可能性は十分にあります。日本列島は目に見える活断層と、おそらくその十倍以上の目に見えない活断層によって切り刻まれた、傷だらけの断層列島です。朝日町にも宮宿断層や常盤断層と呼ばれるB級の活断層が二本あります。宮宿断層は上下方向に五メートル、常盤断層も同じく十メートルずれています。B級とは、平均して千年あたり一～〇・一メートルずれる断層のことで、おおむね一万年に一度活動します。

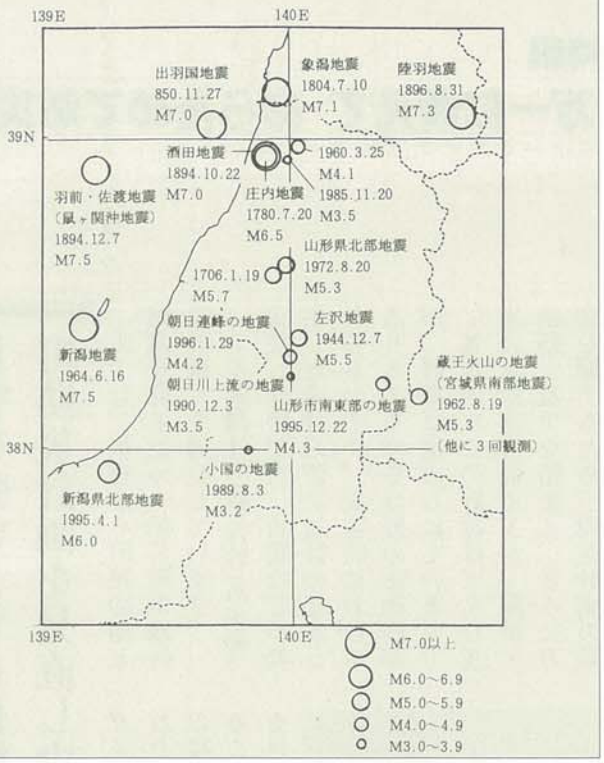
　A級、B級の活断層は、活動

佐竹伸一さん

日本地質学会会員
山形応用地質研究会会員

図①　山形県およびその付近に起こった地震

数字は発生年月日　Mはマグニチュード



①緊急避難所の大谷小学校グラウンドへ避難するわかば保育園児②心肺蘇生人形を使った人命救助訓練③天ぷらなべから出火した火を消火器で消す初期消火訓練④家屋にとり残された要救助者を工作車を使って救出する西村山広域消防署員⑤町婦人防火クラブによるおにぎりなどの炊き出し訓練⑥朝日分署救急隊による適切な応急処置⑦迅速な行動を展開する町消防団員⑧住宅密集地における火災防ぎょ訓練

●特集

万一に備えて あらためて防災

周期が短いので明瞭な断層地形となって現れますが、数万年の周期で活動するC級の活断層は、侵食のために断層のこん跡を残さないので、いったいいくつあるのか分かりません。実際、大地震を発生させたもののうち半分が、C級の活断層といわれています。

―朝日町は平地が少なく、大地が隆起してできた山や河岸段丘の地層にずれなどが多く見受けられます。これらも地震活動と関係がありますか。

●佐竹　朝日岳は、断層活動のために激しく隆起してできた山です。暖日山の急ながけは、激しい隆起に伴って生じた地すべりで形成されたものです。長沼や春日沼などの断層湖もありま

①栄町杉ノ原地区にある延長1.5㌔の宮宿断層。右の層が5㍍ずれ上がっている
②松程から八ツ沼まで延長2.5㌔にもおよぶ夏草双葉団地奥の常盤断層。右の山が10㍍ずれ上がった断層

すし、断層で切られている河岸段丘もあります。これらの変動の際には、大きな地震が起こっていたに違いありません。

　また、忘れた方も多いと思いますが、朝日川の上流で昭和六十二年、平成二年、八年にマグニチュード4クラスの地震が起きています。これは、朝日町の大地を造った活動が、今も継続している証なのです。

―地震に備えて、私たちがやるべきことはなんでしょうか。

●佐竹　阪神・淡路地域などと比べて、活断層の規模も小さく地盤も安定しているところが多いので、必要以上に心配することはありません。しかし、万一に備えての心掛けは忘れないようにしたいものです。

●特集

万一に備えて あらためて防災

災害に強いまちを目指し 町防災計画を見直し中

　町では、災害から町民の命と財産を守るため「朝日町地域防災計画」を策定しています。

　この計画は地震をはじめ水害、火災、土砂災害、雪害などが発生した場合の防災対策の基本となるものです。災害時におけるありとあらゆる分野の活動内容が、詳細に定められています。

　基本的にこの計画はどんな災害にも対応可能ですが、阪神・淡路大震災を踏まえ、さらに万全を期するため、現在計画の見直しを行っています。初動態勢やライフライン（水道、電気、ガス、電話など、線や管で結ばれた生活に不可欠なシステム）の復旧などをより詳しく明示することで、より災害に強いまちを目指しています。

万一に備え 地域や家庭で防災会議を

　災害発生時には、地域防災計画に従って町と関係機関が協力し合いながら、総力を挙げて災害対策に取り組みます。しかし実際の災害では、阪神・淡路大震災にみられたように、町や国の防災対策が即座に機能するには限度があります。

　そこで、それぞれの家庭や地域で、防災に対する日ごろの備えや心構えが必要になります。普段から一人ひとりが災害に対する心構えを持っていれば、いざというときに慌てず冷静な行動をとることができ、それが自分の命を守る最大の防災対策になるのです。

　それらを実践するための方法として、「家族防災会議」を行ってみてはどうでしょう。家族みんなで次のようなことを話し合ってみることが、実際に災害が

消防団が活躍できる地域づくりを

川村信二郎さん
（大谷二）

防災訓練に参加して訓練することの大切さと、地域を守る消防団に力強さを感じました。大谷地区のような住宅密集地では、ひとたび火災が起きてしまえば大火になることは間違いありません。そのためにも、消防団が活動しやすい地域づくりが大切であると思います。例えば路上駐車をしないとか、消火活動の妨げになるものは改善するなど、できることから始めていきたいと思います。

万一に備えて応急手当法を習得

長岡ゆき子さん
（大谷一）

以前にも心肺蘇生人形を使った応急手当を習ったことがあり、今回の訓練で2回目になります。応急手当は正しい知識を取得していないと、反対に容体を悪化させてしまうと聞きました。これまで応急手当を必要とする場面に出くわしたことがありませんが、今回の訓練で少しは役に立てるようになったかなと思っています。また、海などで子供がおぼれた場合も考えて、若い方たちにもぜひ覚えて欲しいですね。

正確な災害情報の提供を

成原東美子さん
（西　町）

火災や大雨などの災害が発生したときに私たちが一番困ることは、どこで、どんなことが起きたのか分からないことです。今年6月の豪雨災害も情報があやふやで、どれを信じればよいのかと困ってしまいました。また、宮宿のサイレンもよく聞こえない状況にあり、防災対策はこれでいいのかと不安になってしまいます。町民に対して、正確な情報をすばやく知らせることができる何らかの方法を考えてください。

自分たちの地域は自分たちで守る

朝日町消防団第3分団長
白田　敏男さん
（大谷四）

これまでの防災訓練は、どちらかといえば見せる訓練でした。今回の防災訓練は、消防団だけでなく地区住民の方も参加しましたので、とても有意義な訓練であったと思います。やはり「自分たちの地域は自分たちで守る」という大原則を忘れてはならないと感じました。そのためにも今回のような防災訓練を定期的に開催し、防災に対する町民の認識を高めていかなければなりません。

起こったときに大いに役立つはずです。

①家族一人ひとりの役割分担

日常の役割と災害時の役割の両方を決める。お年寄りや病人などがいる場合は、災害時にだれが世話をするかも話し合う。

②家屋の危険箇所をチェック

家の内外をチェックして危険箇所を確認し合う。危険箇所があれば早急に修理や補強をする。（ガラスに飛散防止フィルムをはるなど）

③家具の安全配置と転倒、落下防止対策

家具の配置換えによって安全なスペースをつくれないか工夫し、家具が転倒や落下しないよう補強する。（タンスをL字金具で固定するなど）

④非常持ち出し品の準備と入れ替え

非常時に必要な品を考えて非常持ち出し袋などを準備する。定期的に非常食や水などの期限を確認し、新しいものと取り替えることも忘れずに。

⑤災害時の連絡方法や避難場所の確認

家族が離れ離れになったときを想定して、連絡方法や避難場所を確認し合う。休日などを利用し、みんなで避難路の下見をしておく。

以上の五項目を話し合い、万全の備えをしておきましょう。

阪神・淡路大震災の貴重な教訓を生かして

予期せぬときに突然発生するのが災害です。阪神・淡路大震災をきっかけに、私たちの防災意識は高まりつつあります。そんな今が、具体的な防災対策を行う絶好のチャンスなのかもしれません。

阪神・淡路大震災から二年十カ月。多くの犠牲から学んだ貴重な教訓を風化させないように、まずはできることから始めてみましょう。

阪神・淡路大震災の被災地

国道287号を中心に 町内道路の整備促進を図る

朝日町国県道整備促進同盟会設立

道路整備のスローガンを掲げ行われた設立総会

朝日町国県道整備促進同盟会の設立総会が十月二十九日、町中央公民館で行われました。

同会は、西村山と西置賜を結ぶ内陸循環鉄道（左荒線）の促進期成同盟会（沿線五市五町）が昨年十一月、正式に解散したことから、国道287号を中心とする町内道路網の整備促進を新たな目標に掲げて発足されたものです。

町内を通る国道287号は、延長約二十二キロになっていますが、バイパスが開通した寒河江市、河北町、大江町に比べ、中沢、栗木沢、上郷の一部を除いた約八〇％が未改良区間になっています。特に老朽橋二基がある和合バイパス、上郷～白鷹町佐野原間は道幅が狭い上、カーブやこう配も多く、交通事故が多発しています。また、町内を走る各県道についても同じ状況下にあることから、早期改良が望まれています。

主な構成メンバーは、町内各団体や八つの国・県道整備促進期成同盟会の代表を中心に、関係市町選出の六県議ら八十五人で、会長には清野隆町長が就任。県に事情説明のために訪問するほか、国道287号沿線にPRの看板を設置するなど、町を挙げて関係機関への運動を展開する予定です。

朝日山麓家族旅行村 Asahi自然観 だより ⑤

朝日自然観自慢のフランス料理はいかが

いつも宴会や法要でご利用いただいている和食のほかに、自然観ではフランス料理もご用意しています。手頃な値段で本格的なフランス料理が食べられると、町内外のお客様にたいへんご好評をいただいております。

気軽な服装でお越しください。フォークやナイフの使い方が分からない方はおたずねください。もちろんお箸（はし）でも結構です。ぜひ一度、朝日自然観自慢のフランス料理を味わってみてください。

●シェフ（料理長）を紹介します

自然観でフランス料理を担当しているのが大谷五の早坂正巳シェフ。仙台、北海道のプリンス系列のホテルやレストランで修業。平成7年7月から朝日自然観へ。おいしい食材の宝庫北海道で技を磨いてきただけあって、食材の生かし方はなかなかのもの。ぜひご賞味あれ！

●シェフより一言

季節の旬の素材を使うように工夫し、四季折々にメニューを変えています。また、皿の上の見た目を大切にし、食べに来ていただいた方から雰囲気も十分楽しんでいただけるよう工夫しております。

ちょっとしたお祝いや、友達同士の会食に気軽に食べにきてください。お待ちしております。

☆コース料理は
3,000円～5,000円
（昼夜共要予約☎83－7111）
（飲み物、消費税、サービス料別途）

※施設点検のため、11月26日（水）～12月3日（水）は休館させていただきます。

早坂正巳シェフ

新特産品紹介

りんごの町で うまいものを発見

平成７年度より町商工会が、むらおこし事業として研究してきた新しい特産品ができあがりました。「りんごのまち　朝日町」にとことんこだわった究極のうまいものです。みなさん、ぜひ味わってみてください。

◆問い合わせ先／町商工会（☎67－2207）

あさひりんご冷麺

林檎

さっぱり感とうまさを引き出すために、小麦のグルテンにリンゴの粉末を練り込んだ冷麺（めん）です。口当たりと歯ざわりに特徴があり、またスープと盛り付けにもリンゴが使われています。

●販売先／表示のある町内飲食店・１杯700円～

あさひりんごサブレ

へのこ

リンゴの香りと味を大切に焼き上げたサブレ（厚めのビスケットの感じ）です。口に入れるとやんわりと溶け始め、ゆっくり時間を楽しみたい方には最適なお菓子です。知人、親戚への贈り物に喜ばれる商品です。

●販売先／町内菓子店・１枚100円

あさひりんごタルト

こだわり

リンゴの形をした型にビスケット生地とアーモンドクリーム、リンゴのスライスをたくさん詰めて焼き上げた、とってもジューシーなお菓子です。ちよっとした会合やパーティーなどには欠かせません。

●販売先／町内菓子店・１個700円（要予約）

あさひりんごパイ

パイ生地にリンゴをいっぱい使って焼き上げたお菓子です。リンゴの香りや味、みずみずしさを一度に味わうことができます。職人の手にかかったリンゴのうまみがぎっしり詰まっています。

●販売先／町内菓子店・１個200円（要予約）

八ッ目久保遺跡現地説明会
県内でも珍しい注口土器を発見

国道二八七号和合バイパス工事に伴い、㈶山形県埋蔵文化センターが発掘調査をしていた八ッ目久保遺跡（四ノ沢地内）の現地説明会が、十月二十四日縄文ファン約百名が参加し現地で行われました。

今回の調査は最上川と送橋川の合流地点で、岩板橋の西側三千平方メートルの河岸段丘を七月二十八日から十月三十一日まで行われました。この結果、今から約四千五百年前の縄文時代中期の集落跡であったことが判明し竪穴式住居跡七棟や土器、石器など多数出土しました。

中でも注ぎ口のある土器（注口土器）は、県内でも大蔵村の白須賀遺跡に続いて二例目と珍しく、完全なつぼ型に近い物で発見されたのは県内で初めてです。文様についても、東北地方南部で流行した派手な渦巻き模様が見られ、朝日町も当時の文化圏の中にしっかり位置付けられていたことをうかがい知ることができます。

また、住居跡からは石で囲まれた複式炉三基や食物を蓄えたり、ごみ捨て場などとして利用されたと思われる貯蔵穴が十基も見つかりました。

さらに、狩猟に使用された陥穴（おとしあな）が三十基、そのほかたくさんの土器へんや石器などが発見され、町内ではこれまでにない大規模な発掘調査となりました。

参加者のみなさんは、山形県埋蔵文化センター調査主任の佐竹桂一さんの分かりやすい説明に耳を傾け、大昔の人達の生活に思いをめぐらしている様子でした。

(右) 説明会には100名近くの縄文ファンが集合。古代人が使用した炉を興味深げに観察する。

(上) 注ぎ口の付いた珍しい注口土器は、県内でも二例目の発見。

(仮称)生涯学習センター提案競技公開ヒアリング

生涯学習センター施設整備の提案競技公開ヒアリングが十月二十六日、町中央公民館で行われました。

提案競技とは、施設の設計に対する発想や考え方を複数の設計事務所に提案させ、その内容を審査し優秀な作品を決定する方法です。公開ヒアリングは、設計事務所を選定するまでの過程を町民に理解していただこうと初めて開催されたものです。

この日は、町民ら約五十人が参加するなか、一次審査で選定された五社が提案内容の説明を行い、五十嵐治也審査委員長（東北芸術工科大学デザイン工学部長）をはじめとする六人の審査員が、最優秀作品を選ぶため審査を行いました。

なお、決定した最優秀作品や公開ヒアリングの詳しい内容は、本紙十二月号の特集で紹介します。

公開ヒアリング風景

榊壽太さんが総務庁長官表彰を受賞

町行政相談委員の榊壽太さん（大谷一）に国務大臣総務庁長官より表彰状が授与されました。

榊さんは、昭和五十六年より町行政相談委員として、長年にわたり町民の行政に対する苦情、意見などの解決にご尽力された功績が認められたものです。

榊さんは、「町民のみなさんと行政とのパイプ役として努めてきました。これからも町民の良き相談相手となれるよう努力します」と語ってくれました。

白田光市さんが農林水産大臣表彰を受賞

町農業委員会会長の白田光市さん（大谷二）に、農林水産大臣より表彰状が授与されました。

白田さんは、昭和四十六年から農業委員、昭和五十八年から同委員会会長として、長年にわたり農業の発展に尽力された功績が認められたものです。

白田さんは、「農家のみなさんと関係機関の協力があったからだと思います。これからも町農業発展のため努力したい」と語ってくれました。

苦楽をともに50年

金婚祝賀会

中部地区のおしどり夫婦

西部・北部地区のおしどり夫婦

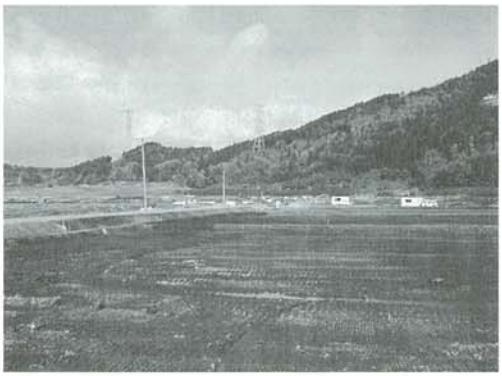
結婚生活50年を祝う金婚式が10月８日、町農業団地センターで行われました。

参加者は、昭和23年に結婚された70組のおしどり夫婦。太平洋戦争の終戦間もない年に結婚し、新婚時代は大変厳しい世の中を夫婦で手を取り合いながら過ごしたとあって、記念写真を撮る姿は、とりわけ夫婦仲の良さがうかがわれました。

式では、始めに清野町長より一組ごとに賀詞と記念品が贈られました。その後、金婚者を代表して佐竹薫さん（松程）が、「半世紀にわたって激動の昭和を夫婦が協力し合い乗り越えてきました。これからも町発展のため協力していきたい」と謝辞を述べました。

祝宴では歌や踊りで盛り上がり、みなさんが楽しい一日を過ごしました。

着々と進められる大谷地区基盤整備



農作業の効率化へ向け、昨年度から工事が始まった大谷地区担い手育成基盤整備事業が、急ピッチで進められています。

この事業は、明治四十五年に十アールの区画に整備されたほ場を、一区画三十アール～一ヘクタールに広げることにより、作業効率の向上と低コスト化を図ろうというものです。総区画整地面積は百四十五・五ヘクタール、総事業費は約十九億円、平成十二年度に完成の見込みです。

今年度の工事面積は、約四十二・七ヘクタール、事業費は約六億千三百万円の予定です。

第14回アップル町民駅伝競走大会

“タスキ”につないだ熱い思い

スタートの合図をまつ小学生選手。緊張の一瞬（中央公民館前）

絶好の駅伝日和となった十月十日、アップル町民駅伝競走大会が行われました。十三チーム二百四十五人の選手は、たわわに実ったリンゴと地区民の声援を背に、朝日路に健脚を競いました。

大会は中央公民館前発着の十一区間二十五・七キロのコースで行われ、序盤は大谷風チームがリード。終盤は激しい競り合いが繰り広げられ、常盤チームがトップに立ち初優勝かと思われました。しかし地力に勝る三中チームが、最終十一区で常盤チームをかわしそのままゴール。昨年に引き続き連続優勝を飾りました。

後は任せてと笑顔でスタート（中沢・玉ノ井）

◆団体成績

①三中	1時間35分41秒	
②沢内	1時間37分04秒	
③常盤	1時間37分18秒	
④上郷	1時間37分43秒	
⑤大谷風	1時間38分11秒	
⑥宮宿A	1時間39分09秒	
⑦大沼・大暮山合	1時間39分19秒	
⑧和合	1時間40分14秒	
⑨松程	1時間42分30秒	
⑩中沢・玉ノ井	1時間44分17秒	
⑪前田沢	1時間47分46秒	
⑫大谷神	1時間50分16秒	
⑬宮宿B	1時間52分08秒	

◆区間賞

1区	安藤茂昭（上郷）	
2区	阿部春樹（常盤）	
3区	阿部和寿（上郷）	
4区	熊谷明子（宮宿A）	
5区	海野洋一（三中）	
6区	石黒宏（松程）	
7区	安藤剛志（三中）	
8区	鈴木希衣子（宮宿B）	
9区	浅岡若菜（宮宿A）	
10区	安藤秀也（上郷）	
11区	海野宏行（沢内）	

カメラさんぽ

「がんばれ！がんばれ！」と明鏡荘のおじいちゃん、おばあちゃんたちも応援

中継所はもうすぐ、がんばれ（沢内）

熱い思いをタスキに託して（前田沢）

婦人会のみなさんも大活躍

二連覇を飾った三中チーム

開通したばかりの三中トンネルが新コースに

まちの話題

まちの話題…❶　うまいものまつり

食べやすいと好評のあさひりんご冷麺

うまいもの鍋コンテスト

町のうまいものが大集合

うまいものまつりが10月19日、町役場裏広場で行われました。

これは、町商工会などが開発した新商品の発表や地酒の試飲会など、町のうまいものを一堂に集めたものをみなさんに味わってもらおうと、今年初めて開催されたものです。

この日は約400人が参加。新商品の「あさひりんご冷麺」と「あさひりんごサブレ」、「あさひりんごタルト」の３品を披露し、試食用として冷麺450食、サブレ500個を参加者全員に味わってもらいました。

うまいもの鍋コンテストでは、町内各団体から７つの鍋が出品。地元の比内鶏をベースに朝日連峰で採れた７種類のキノコや山菜などを入れた、朝日山岳会の「山賊鍋」が優勝を飾りました。準優勝には本場韓国キムチをふんだんに使った渡邉美姫さん(送橋)の「キムチ鍋」が輝くなど、どの鍋も工夫をこらしたおいしい鍋が集まりました。

また、地酒「豊龍」の試飲会や特産品の直売も行われ、参加者は色づき始めた紅葉を見ながら、秋の味覚を満喫していました。

まちの話題…❸　ふるさと文化講座

大谷往来を訪ねて

第３回ふるさと文化講座「大谷往来ゆかりの地巡り」が10月19日、大谷地区一円で行われました。

大谷往来とは、元禄７年（1968年）に大谷の彦七により作られた寺子屋の教科書で、大谷の風景、名所、名物、特産品を美しい文章で書きつづった書物です。

この日は32人が参加。秋葉山の頂上にある大谷往来碑を始め、香が清水や愛宕山などを訪れ、参加者は江戸時代の文章に感心しながら、彦七の見た美しい郷土の姿をあらためて見直し、地域を大切にする心を確かめていました。

まちの話題…❷　ひめさゆり愛好会

ヒメサユリの球根を植栽

ひめさゆり愛好会（安藤俊一会長・会員45人）が10月19日、能中の一本松公園に町の花「ヒメサユリ」の球根を植栽しました。

この日は15人が参加し、球根600球を一つひとつ丁寧に植栽しました。来年初夏には、一面に咲き誇るヒメサユリを見ることができそうです。

まちの話題…❺　第33回朝日町芸術文化祭

輝け 伝統の技 心の技

第33回朝日町芸術文化祭が11月２日、３日の両日、中央公民館と町民体育館、さらに西部公民館、秋葉山交遊館で各種展示や芸能発表などが、にぎやかに繰り広げられました。

３日には中央公民館で芸能発表が行われ、各文化団体・サークルが次々に登場。１年間の歌や踊りなど活動の成果を披露しました。

さらに、同日夜には同文化祭の特徴ともいえる移動芸能発表会が太郎公民館で開催され、集まった人たちは、身近に見る歌や踊りの発表に、楽しいひとときを過ごしていました。

まちの話題…❹ 西村山駅伝

朝日Ａが完全優勝

第44回西村山地区駅伝競走大会が11月７日、１市４町を巡る９区間83.8キロのコースで開催されました。

今大会は管内の８チームが出場し、寒河江市民体育館前を一斉にスタート。１区からトップに躍り出た朝日Ａが、各選手とも安定した走りでたすきをつなぎ、そのままゴール。一度もトップを明け渡すことのない完全優勝で、５年ぶりとなった優勝に華をそえました。成績は次のとおりです。

◆チーム成績　①朝日Ａ②西川Ａ③寒河江Ａ④河北⑤大江⑥寒河江Ｂ⑦西川Ｂ⑧朝日Ｂ

◆区間賞　石黒宏（１区・大船木）、阿部春樹（５区・常盤）、清野正利（６区・送橋）、早坂健一（９区・大谷五）

まちの話題…❻　西部青年教室

こだわりの料理に挑戦

第１回西部地区青年教室が10月24日、青少年育成センターで開催されました。この日は15人が参加。地元食材を生かした比内鶏の焼き鳥と山賊なべ、手打ちそばづくりに挑戦しました。

参加者は「初めてそばを打ってみましたが、なかなかうまくこねることができませんでした。でも自分の打ったそばが一番おいしいです」と、すべてが手づくりのこだわりの料理に、大満足の様子でした。

まちの話題…❽ 明鏡荘訪問

花をプレゼント

11月４日、上郷小学校児童（海野寛校長・43人）が養護老人ホーム明鏡荘を訪れ、入荘者に春から心を込めて栽培したペゴニアをプレゼントしました。

ペゴニアには児童からのメッセージが添えられ、入荘者たちは思わぬプレゼントに顔をほころばせていました。

まちの話題…❼　各種大会成績

朝日中女子柔道部初優勝

◆西村山地区中学新人総合体育大会（９／27・28　各会場）
３位　佐藤裕美（柔道女子個人）

◆第25回･山形県中学校新人体育大会南ブロック大会（10／19　各会場）
１位　柔道女子団体
２位　剣道女子団体
４位　佐藤季莉佳（柔道女子個人）

◆山形県スポーツレクリエーション大会（10／19　県総合運動公園ほか）
１位　阿部為吉（グラウンドゴルフ・常盤）
２位　レディース朝日（ソフトボール）
３位　鈴木藤七（ラージボール卓球・西町）

◆第32回西村山地区ロードレース大会（10／19　寒河江市民体育館周辺）
○中学女子の部 3.0km
１位　浅岡若菜（朝日中）11分12秒
○高校・一般男子の部 10km
２位　阿部春樹（常盤）34分10秒
○高校・一般男子団体の部 10km
２位　朝日町
（阿部春樹・早坂健一・長岡和久）
○中学女子団体の部 3.0km
３位　朝日中学校
（浅岡若菜・熊谷明子・清野奈津美）

◆第２回べに花リトルカップ新人野球交流大会（11／３　河北町）
１位　朝日サンフラワーズ

みんなのひろば

新婚さん

送橋／渡辺　博幸さん　智子さん

昨年の９月、博幸さんが勤務している県庁へ臨時職員として配属になった智子さん。博幸さんの第一印象は「目が大きくてきつそうな人」、智子さんは「遊び人みたいだな」と感じたそうです。

その後もほとんど会話することがなかったそうですが、飲み会がきっかけで急接近。智子さんが安比スキー場に行くと聞いた博幸さんは、「お土産は安比牛乳ね」といたずら半分にお願いしてみると、「はい、お土産の安比牛乳」と本当に買ってきた智子さん。博幸さんはその心とお土産に超感激し、そのお礼に…と二人の仲はさらに深まったそうです。

今では「年のわりにしっかりもの」、「何でも話せるまじめな人。いつの間にかだまされたかな」という調子。仕事の都合で新婚旅行はお預けだが、サッカー観戦も兼ねてフランスへ行けたらと、幸せ一杯のお二人でした。

すてきな仲間たち ㉛

「えーちゃんず」

バスケで心も体も燃えようぜ

昨年、山形新聞社主催の３(スリー)on３(スリー)バスケットボール大会に参加し見事ベスト４、さらにＹＢＣテレビにも放映された朝日町のチームをみなさん知っていますか？それが「えーちゃんず」です。

バスケ好きの６人で昨年結成され、現在13人の仲間がいます。毎週火曜日と土曜日に町民体育館で、午後７時30分からかるく汗を流しています。

いろんな大会に積極的に参加し、好成績？も上げていますが、仲間をもっともっと増やし、県のリーグに登録できるまでになれればと思っています。一緒に楽しんでみたい方、気軽に遊びにきてください。特に女性の方で、「サポーターになってもいいな」と思っている方大歓迎です。　（代表　鈴木竹美　☎67―7633）

せんせい　さゆり保育園　あ・の・ね

（園外保育に出かけて、キノコを発見した園児たち）

園児Ａ「あっ、キノコォ～こいずくいべが？」

園児Ｂ「どくはいったぜ、ぜったい」

園児Ｃ「ちがう、ゲラゲラゲタケっていうなだぁ～」

保　母「ゲラゲラゲタケ？」

園児Ｃ「そいずくうど笑い止まんねぐなるんだどぉ」

全　員「アハハハハァ～」

ひとことトーク

家族みんなで グラウンドゴルフ

～県スポレク大会優勝～

阿部　為吉さん
（常　盤）

グラウンドゴルフとの出会いは、平成四年に山形で行われた「べにばな国体」デモスポ競技に出場してからで、始めてから六年になります。

おかげさまで十月に開催された県スポレク大会のグラウンドゴルフの部では、約八百人が参加する中、優勝することができました。

数あるスポーツの中で老若男女問わず、いつでも、どこでも、だれでもできるこのグラウンドゴルフは、家族みんなで楽しむことができます。子供たちもグラウンドゴルフの話になると食事もそっちのけで、目を輝かせながら身振り手振りジェスチャーを交え話をします。

全国スポレク祭「スポレクやまがた99」が平成十一年度に行われますが、家族そろって出場できれば最高です。

よくわかる「エコミュージアム」入門 ㉓

学校教育とエコミュージアム

学校教育では、生活科や理科、社会科などで、地域の自然や歴史、生活文化などを素材として学習する機会が数多くあります。

「知識詰め込み型の教育ではなく、真に生きる力となって働く知恵の獲得こそが大切である」。このように教育のあり方が大きく様変わりしてから、地域の素材を大切にした授業はますます大事なものになってきています。

地域をよく知っていれば、地域の生きた素材を活用して、子供たちの心を揺さぶる生き生きとした授業を仕組んでいくことができます。しかし、地域のことがよく分からなければ、このような授業を行うことができませんから、先生方はその地域のことをよく知ろうと努力しているのです。

しかし、朝日町は寒河江市や河北町と比べて、町内在住の教員がきわめて少なく、町外在住の先生方が八〇％以上を占めている現状です。忙しい勤務の中で、地域に精通していくということは、そうたやすいことではありません。

エコミュージアムは、地域の人たち自らが地域のことを調べていく研究所であると同時に、それをみんなに伝えていく機関・施設でもあります。その窓口がいつも開いていれば、先生方が地域をよく知ろうとするとき、大きな力となるでしょう。

エコミュージアムが充実すれば、地域の人たちと先生方とが力を合わせ子供たちを教育することができ、学校教育も深まりを増していくのです。

（朝日町エコミュージアム研究機構）

孫たちへ伝えられるわら細工

町民の声

みなさんからのお便りでつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、楽しい話題、イラスト、
質問など待っています。

〔あて先●朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場総務課文書広報係〕

宮宿中央駐車場について

以 前、福昌寺わきの駐車場の名称は「宮宿中央駐車場」となっていましたが、現在は「福昌寺駐車場」と変更になっています。福昌寺の専用駐車場ではないと聞いていましたが、どうなっているのでしょうか。

【匿名希望】

答 福昌寺境内の駐車場については、昨年三月まで町が福昌寺から借用し利用させていただいておりました。賃貸人である福昌寺住職より、寺本来の利用に供するとのことで、契約の延長ができませんでした。

しかし、福祉の向上と商店街振興のため、寺の事業に支障のない限り無料駐車場として開放していただくことで、昨年六月に町と福昌寺の間で確認書を取り交わしたところです。

「宮宿中央駐車場」から「福昌寺駐車場」と名称が変更になりましたが、一般の使用については、従来どおり利用できますので、ルールを守ってご利用ください。

【商工観光課】

ワイン事件の対策は

故 郷の「朝日町ワイン」を販売させていただき十年余りになり、おかげさまで販売量も伸びているようです。

ところで九月に発生した朝日・村のワイン発酵タンク事件がテレビなどで報道され、客からの問い合わせで説明に苦慮しております。朝日町でもマイナスと思われますが、その対策はどうなさっていますか。

【清野芳美・埼玉県】

答 日ごろより朝日町ワインを販売、ご愛飲いただきありがとうございます。

さて、先月マスコミから報道されました朝日村の月山ワイン発酵タンク除草剤容器投入事件は、同じワインの製造販売に携わる者として大変ショッキングな事件であり、他人事では、ない事件と認識しております。

朝日町ワインにおいても、このような事件が発生しないとも限らないことから、工場内の見回りや施錠を強化し、対策を図ったところです。

朝日町ワインは、山形の風土に根ざした本格派ワイン。『すぐれたワインは良いブドウから』を大切に、ワイン造りを続けていきますので、今後とも朝日町ワインを販売、ご愛飲くださいますようお願いいたします。

【有限会社 朝日町ワイン】

町の宝もの〝朝日町ワイン〟

清水ハイツの入居発件は

町 営住宅「清水ハイツ」の入居者条件を教えてください。

【匿名希望】

答 町営住宅「清水ハイツ」は一種住宅（約七十三平方メートル）、二種住宅（約六十八平方メートル）と種別されており、住宅に困っている低所得者層を対象に、公募により入居を決定しています。

現在の入居条件は、公営住宅法という法律により厳しく制限されていますが、この法律も平成十年四月から種別の廃止、入居収入基準の見直しなどが大幅に改正され、入居条件が緩和される予定です。

これを受けて、現在町条例の改正を検討中ですので、細部については、役場建設課にお問い合わせください。

【建設課・☎67－2115】

図書券が当たる 広報◆クイズ

【問題】

①右の写真は八ツ目久保遺跡から出土した「注ぎ口付きの○○土器」

②町の特産品として新開発された「りんご○麺」

③今年初めて開催された「町総合○○訓練」

【応募方法】

正解を「広報あさひまち」の折り込みハガキに書いて送ってください。正解者の中から抽選で三人の方に図書券をプレゼントします。また、答えの下に広報の記事についての感想をお聞かせください。お願いします。

【十月号の答え】①交通安全町民大会②ねんりんピック③三人

【応募者総数】二十五人

【十月号の当選者】熊谷千代子さん（小原）・齊藤トシ子さん（夏草）・小林きみさん（大沼）

こせきのまど

■10月1日～31日届出

すこやかに

（出生届）

区名	出生児氏名	保護者名
中沢	堀　茜音（あかね）	敬美
大町	鈴木藍璃（あいり）	忠信
常盤	齊藤洋人（ひろと）	充人
大町	安藤美月（みづき）	喜宏

おしあわせに

（婚姻届）

大滝幸彦（沼向）	♥	中村美佳（山形市）
渡邉博幸（送橋）	♥	遠藤智子（山形市）
村山喜平治（宇津野）	♥	金裕順（韓国）
菊地功（西町）	♥	大沼和枝（寒河江市）
阿部安彦（大谷五）	♥	宇野静加（河北町）
長岡優（松程）	♥	板垣弘子（南陽市）

やすらかに

（死亡届）

区名	死亡者氏名	世帯主
四ノ沢	阿部よしゑ	本人
中沢	堀　あきの	義雄
大沼	小林直次郎	直廣
大谷五	阿部久四郎	久志
四ノ沢	遠藤定雄	本人
大谷一	渡邉ちやの	幸雄

●掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

人口と世帯数

●平成9年10月31日現在

人口		9,887（ 0）
	男	4,915（増 2）
	女	4,972（減 2）
世帯数		2,585（減 3）

（ ）内前月比

くらしの知恵袋 ⑮

今月は、10月19日に行われた「うまいもの鍋（なべ）コンテスト」でみごと優勝に輝いた朝日山岳会の『山賊鍋』を紹介します。日に日に寒くなるこれからの季節、山の幸ふんだんの山賊鍋で心も体も温まりましょう。

◆山賊鍋

《紹　介》朝日連峰のふもとで伸び伸びと育った比内鶏のガラをじっくり煮込んだだし汁に、季節の山菜、キノコ、比内鶏肉をふんだんに入れた、自然色豊かなみそ仕立ての鍋です。山菜、キノコはありあわせのもので結構です。
この鍋は、私たち山岳会が山に行ったときによく食べています。

《材　料》比内鶏のガラと肉・みそ（白みそと赤みそ）、ニンニク、ショウガ少々・山菜（季節の山菜）・キノコ（季節のキノコ）・ネギ（セリでも良い）豆腐

《作り方》①比内鶏のガラを弱火で一時間ほどアクを取りながら煮出して、だし汁を作る。
②みそは白みそ、赤みそを半々に入れ、ニンニク、ショウガを少々入れて合わせみそを作る。
②山菜、豆腐、比内鶏は大きめに切り、キノコはさっと洗っておく。
③だし汁に比内鶏の肉を入れて煮る。煮えてきたら合わせみそを入れ、山菜、キノコ、豆腐、ネギを入れる。

《一言メモ》最後に残った汁にうどんなどを入れて食べると最高です。

山の幸がふんだんに入った山賊鍋

山岳会のみなさん

夢⑧ かなうといいな

今月は宮宿小学校六年生です

●車が大好きなのでカーショップの店長になりたい。将来は自分が改造した車で鈴鹿のレースに出場し、優勝できたら最高だろうな。

今井昭義・新宿

●子供が大好きなので保母さんになりたい。無邪気な笑顔を見るとうれしくなります。さゆり保育園の保母さんになれるようがんばります。

清野愛麗・四ノ沢

●将来は通訳関係の仕事をしたい。仕事で海外に行けるし、世界のスーパースターに会えるなんて最高。まずは英語の勉強から始めよう。

佐藤亜妃・西原

●医者になって不治の病で苦しんでいる人を助けてあげたい。僕が医者になったら治らない病気はなくなります。みなさん待っててね。

鈴木智史・元町

朝日町十景写真コンテスト入選作品 ⑨

●優秀賞　「紅葉の大沼」

■撮影者
鈴木三智夫さん（白鷹町）

退職後、思い出の地「大沼」を訪れ、大沼の浮島の水面に写った紅葉があまりにも美しく神秘さえ感じられ、しばし刻（とき）の経つのを忘れるほどであった。
（大沼の浮島より　ミノルタ α5000使用）

まごころBOX

▼町に防犯灯と設置工事を寄付

東北電力㈱寒河江営業所より、防犯灯を四基。ユアテック㈱寒河江営業所より、設置工事をそれぞれ寄付していただきました。

▼町に寄付

㈱山形ビルサービスより、現金二十万円を寄付していただきました。

とってもビッグな夫婦ナス

舟渡の五十嵐美代子さん方では、畑に栽培している長ナスに人の顔ほどある大きいナスが実り、近所の話題になっています。美代子さんは「こんなに大きいナスは初めてです。しかも二つも実ったので、仲の良い夫婦ナスといったところでしょうか」と語ってくれました。

春夏秋冬

編集後記

今月号の九ページで紹介したりんごの町のうまいもの（新特産品）を、みなさん知っていましたか。これらは、平成七年から町商工会が中心となり新特産品の開発に乗り出し、この度完成したものを十月十九日の〝うまいものまつり〟で発表したものです。取材に伺ったときには、おいしそうなにおいが会場いっぱいに広がっていました。

「記事を書くには味見から。食欲の秋だしね」と、勝手な思い込みと広報係の特権を生かし？、カメラ片手にまず試食。おいしいからとまた試食、取材も忘れただひたすらに食べていました。「食べてみての感想は？」と自分自身に取材をしてみると、「うまいの一言。でもこれだけでは記者泣かせだから、開発に携わったみなさんの熱意と郷土愛がぎっしり詰まっていますね」かな。　㊞

■広報あさひまち　第492号　平成9年11月15日発行　■発行　山形県朝日町　■編集　朝日町広報委員会／山形県西村山郡朝日町大字宮宿1115　☎0237(67)2111　■印刷　豊田太印刷所

広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。